



国立国会図書館所蔵

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



住友ベークライトは幅広い分野の製品を生産・販売しており、用途も多岐にわたります。その中でも特にSDGsへの貢献が大きい製品を「SDGs 貢献製品」として認定し、普及を促進することでSDGs達成に貢献しています。



金属代替フェノール樹脂成形材料

脱炭素など環境に配慮した電気自動車などの普及は、フェノール樹脂成形品の金属代替による小型・軽量化で可能性を拡げてきました。中でも、動力を調節するブリーなど様々な車種に応じた部品の樹脂化の技術は、住友ベークライトのフェノール樹脂パリューチェーンの強みです。なかでも、「SION®」は金属加工部品に匹敵する、寸法精度や耐熱強度などに対応したフェノール樹脂成形材料です。

簞 迫

はこせこ



機能満載の化粧鞆

磨きなほす鏡も清し雪の花——芭蕉

旅先で鏡に映ったひとひらの雪に、思いを馳せる芭蕉の心情が描かれた句ですが、当時の鏡は銅などで作られた金属鏡というものでした。重量もあり、外気に長く晒されると、表面が酸化して曇ってしまうので、定期的に鏡磨師に頼んで磨く必要がありました。

そこで、人々は出先で良く使う懐中鏡や紙入鏡と呼ぶ小型のものは、箱や布に包んで曇らないように携帯しました。簞迫は、江戸時代に武家の女性が打掛などの正装をした時に、帯近くの胸元に挟んで携帯した化粧ポーチのようなもの。懐中鏡を始め懷紙や櫛、白粉に紅板や貨幣などを入れるところも設けた、美しい布地などを貼った小さな箱型の形状をしていました。

江戸中期の寛保年間になると、懐中鏡は軽くて小型のガラス鏡が製造されるようになり、年間数万枚と量産されるようになってきました。五街道の整備で旅の機会も増え、小さな簞迫を携帯することが人気になりました。

時代に添いながら新しい技術も組み入れて、女性たちの行動範囲を広げた簞迫のように、住友ベークライトの金属代替フェノール樹脂成形材料は、電気自動車などへの変化に即して部品の小型・軽量化への可能性を実現し、耐熱強度や寸法精度などの機能を充実させています。

プラスチックのパイオニア

住友ベークライト株式会社

高機能プラスチック製品事業本部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天洲パークサイドビル
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <https://www.sumibe.co.jp>